

【ハルカ】

普段はおとなしい女子高生。元いじめられっこのので気が強い。早口。
ボイスサンプル「たとえ過去を失っていても……」→そのまま。

天使の街～ハルカ～

タイトルコール。「天使の街」と「ハルカ」の間を一呼吸空ける。

わたしの想うセンパイはもういない
テンシは恋する女に誘われる

上記2つは単独。

学園祭が終わったらセンパイに告白しようと思っていた。
でも、その想いは叶わなかった。
センパイはバケモノの仲間になっていたから。

上記3つは続きの文章。

上記は、朗読のように感情をあまり込めずに。

わたし、センパイのことがずっと前から……

あこがれのセンパイへの告白。突然そんなシチュエーションに。焦り。ドキドキ。

センパイは幽霊に取り憑かれています！

非現実的なことを仲間にわかってもらうために必死。

ヤヨイさんをたすけるんだ！

正義のヒロイン風。かっこよく。

先生は、愛する人をバケモノにしたの？

わたしを騙したの？

先生もテンシになったの？

上記3つはモノログ。哀しみ。切なさ。

どうしよう？ サキもやられた！

焦り。不安。絶望。

これは……幽体離脱？

疑問。

死んだ！ わたし、死んじゃった！

やけっぱち。あきらめ。

ナツミさん……キスしても……いいですか？

緊張しながら。上記の「告白」と同じ。

【マヨ】

男勝りで言葉遣いは乱暴だが、生徒からは慕われている。

ボイスサンプル4つめ。高校教師風「ダメだやり直し」→声はそのまま。優しいニュアンス、人間味を。

天使の街～マヨ～

タイトルコール。「天使の街」と「ハルカ」の間を一呼吸空ける。

あの夏、私が出会ったもの……

ナツミというの名の美女。

そして……

テンシと呼ばれるバケモノ。

上記4つは続きの文章。

上記は、朗読のように感情をあまり込めずに。

ナツミ、私と付きあってくれない？

告白だが内心を悟られないようざっくばらんに。「ちょとお茶していかない？」

私もバケモノ退治に参加する

「もうしょうがないなあ、私も参加してあげるよ」上目線。

ミライちゃん、撃って！

ミライちゃんに危機が迫る。必死。

私、テンシのことなんて、どうでもいいんだからね！

これも上目線。「ここにいる資格がないんだよ、どうせ」「買いかぶりすぎ」

なんでテンシになってしまったの？

モノログ。哀しみ。

待てえっ！ まだ撃つなあっ！

愛する人が撃たれる寸前。魂の叫び。「お願い撃たないで！」（命令ではない）

どうしてあなたはテンシにならないの？

マヒルとえっちしたんでしょ？

愛する人はひとりだけって誰が決めたの？

上記3つはセクシーに。大人の色香。ハルカ（恋敵）より優位に立とうとする。

たすけて、たすけて、たすけて、たすけて、たすけて

モノログ。ささやくように。